

## 2003 年度 委員会活動成果報告

( 2004 年 3 月 31 日作成 )

|                     |  |            |
|---------------------|--|------------|
| 委員会名                | 骨材品質調査研究小委員会   | 主 査 名：清水昭之 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会) | 材料施工委員会<br>(鉄筋コンクリート工事運営委員会)   | 委員長名：嵩 英雄  |
| 設 置 期 間             | 2002 年 4 月 ~ 2004 年 3 月  |            |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画  | <p>最近の多様化する骨材事情の現状把握と新たな骨材の基準化を目的とする。</p> <p>2001 年度 検討課題の整理、体制整備、活動予定の作成</p> <p>2002 年度 JASS5 改定への対応、人工骨材に関する文献収集</p> <p>2003 年度 JASS5 のフォロー、人工骨材に関する文献整理</p> |            |
| 委員構成<br>(委員名(所属))   | 清水昭之(東京理科大) 阿部道彦(工学院大学) 伊藤康司(全生連) 井上和政(竹中)<br>嵩英雄(工学院大) 菊池雅史(明治大) 立屋敷久志(三菱マテリアル) 棚野博之(国土交通省)<br>二村誠二(大阪工大) 萩ノ谷克範(都市公団) 畑中重光(三重大) 藤木英一(日本メサライト) 真野孝次(建材試験センター)  |            |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)  | 人工骨材 WG：従来の膨張頁岩系の人工軽量骨材のほか、最近では様々な原料、製法、密度の人工骨材が生産されている。この WG では、これらの人工骨材の技術の現状をまとめ、今後の骨材開発、利用に資することとする。   |            |
| 2003 年度予算           | 150,000 円  |            |

| 項 目                   | 自己評価   |
|-----------------------|--|
| 委員会活動状況<br>(開催日・参加人数) | 小委員会 回 (軽量骨材 WG, 再生骨材 WG 合同)<br>人工骨材 WG 10 回   |
| 得られた成果                | <p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2001 年度は、小委員会として検討すべき骨材の諸問題を整理し、検討体制、検討課題の抽出、今後の活動予定を定めた。</p> <p>2002 年度は主として JASS5 の改定に伴う 4 節「コンクリート材料」の 4.3「骨材」の部分の見直しを行い、リサイクル推進の立場から再生骨材の JASS5 への取り込みの方法を検討し、通常の骨材と同等の品質を持つと判断されるレベルの再生骨材の品質基準を定めて通常の強度レベルのコンクリートに使用できるようにした。また、16 節「軽量コンクリート」では、人工軽量骨材の性能判定規準に関する国土交通省の通達の廃止に伴い、それに相当する規準を JASS5 T-204 として制定した。</p> <p>2003 年度は、JASS5 のフォロー、電気炉酸化スラグの利用に関する受託研究の支援、人工骨材に関する検討(人工骨材 WG)を行い、人工骨材についてここ 10 年間の文献調査キーワード表を作成した。</p> |
|                       | 委員会 HP アドレス： なし  |
| 目標の達成度                | <p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> ほぼ当初計画どおり  |
| その他評価すべき事項            | なし   |